

環境報告書

2016



報告書の対象範囲

対象期間 2015年4月1日～2016年3月31日

一部、対象期間以前、もしくは以後の活動内容やグループ会社の活動内容も含まれます。

目次

● 目次	P 1
● 社長環境メッセージ	P 2
● 会社プロフィール	
□ 社是・経営理念	P 3
□ 環境組織・環境基本方針	
□ 事業部 環境方針	P 4
● 環境に配慮した製品、生産設備の紹介	
□ 設備部門 「ヒートポンプ 熱の有効利用」	P 5
□ 自動車部品製造部門 「方式変更による洗浄剤-回収率の向上」	P 6
● 環境への取り組み	
□ トリニティ工業全社の環境負荷低減活動	P 7
■ 地球温暖化防止への取り組み	
■ 循環型社会への取り組み	
□ 環境マネジメントシステム	P 8
■ 工場ISO14001取得状況	
■ 全社安全衛生環境会議	
□ 環境コミュニケーション	
■ 豊田市「環境の保全を推進する協定」	
■ 「トヨタ地球環境月間」への参画	
■ 「ライトダウンキャンペーン」への参画	
● 地域とのコミュニケーション活動	
□ 豊田工場	P 9
■ 近隣地区役員との交流会	
■ 地域美化活動	
□ 三好工場	
■ 環境活動	

社長環境メッセージ

近年、エネルギー・資源の枯渇問題、地球温暖化、生物多様性の衰退問題など、地球環境をめぐる「国境を越えた課題」が山積する中、企業の果たす役割はますます重要性を増しています。当社においても、こうした状況に真摯に向き合い、省エネルギー・環境負荷低減に取り組んでまいります。

当社は、塗装設備及び自動車内外装部品の製造を担う企業として、地球温暖化、大気汚染、また、産業廃棄物などの環境問題を最重要課題の一つと捉え、平成11年に環境基本方針を策定し、『環境』を企業活動の柱のひとつとして、事業を進めております。

当社の環境改善への取り組みとしては、「熱・水・空気」の総合エンジニアリング企業として、省スペース、省エネルギー型の塗装設備の開発に取り組んでおります。また、部品生産活動においては、工場動力源の省エネルギー化、新工法の採用などを推進し、少資源で環境にやさしい製品作りを推進しております。

これらの活動を継続して取り組み、エネルギー問題に限らず、事業活動に伴う環境負荷の低減に努め、環境改善への取り組みが、企業や社会を発展させるものと確信し、「人に、地球に、やさしい企業」であり続けたいと考えております。

今後とも、皆様方のご指導、ご支援を賜りますように衷心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長
水川 政明

会社プロフィール

創立	1946年10月2日
本社所在地	愛知県豊田市柿本町1-9
資本金	13億1,100万円
売上高	332億円（平成28年3月期実績/連結売上高）
社員数	804名
事業内容	「塗装プラント」「塗装機器」「産業用機械」の設計、製作、施工 「自動車部品」の製造
事業所	豊田工場 三好工場 東京支店 大阪支店 田原営業所 九州営業所 東北営業所

□社是

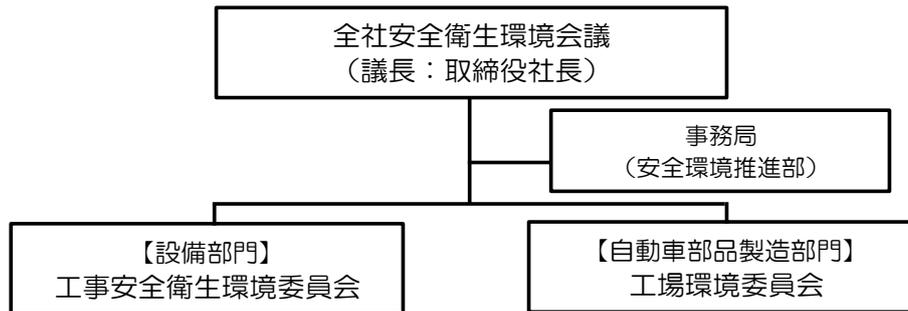
信頼と創造

□経営理念

1. 世界規模での経営基盤を強化し、環境の変化に柔軟に対応して着実に成長する。
2. 相互信頼に基づき、個人の創造力とチームワークの強みを最大限に発揮する企業風土を作る。
3. 各国、各地域に根ざした事業活動を通じて、産業・経済・文化の発展に貢献する。
4. 時代を先取りした研究と開発に努め、物づくりの技術を高めることにより、お客様に満足して頂ける魅力溢れる商品を提供する。
5. クリーンで公正な企業活動を実践し、安全で魅力的な商品の提供を通して、住みよい地球と豊かな社会作りに貢献する。

環境組織・環境基本方針

□環境組織



□環境基本方針

1. 国、地方自治体などの環境法規等を遵守するとともに、自主管理基準の目標を定め、達成することで、環境保全の向上に努める。
2. 当社の保有技術を更に向上させ、環境に配慮した製品技術開発に努め、排出物・廃棄物の発生やエネルギー消費量の少ないモノづくりに継続的に取り組む。
3. 生産活動が環境に及ぼす影響を予測・評価し、一人ひとりの自覚と責任において生産工程の自主管理に努め、環境に配慮した取り組みを推進する。
4. より良い地球環境の実現をめざし、企業活動のみならず、良き企業市民として社会や地球に貢献する為、社内の力を結集し、環境保護にも積極的に取り組む。

事業部 環境方針

□設備部門

本社・設備事業部環境方針

本社・設備事業部は、塗装設備のシステム設計、技術開発を通して地球環境の保全・保守を第一義に取り組む。

1. 各地域の法令・条例・協定を遵守する。
2. 設備システムが与える環境インパクトを評価し設計を行う。
3. 設計から調達・施工・調整・顧客への引き渡しまで、資源の無駄使いを抑え、エネルギーの軽減に努める。
4. 環境内部監査を行いマネジメントの機能が有効に働いているか定期的に審査を行う。
5. 事業部署に対して環境保全教育を継続的に行う。
6. オフィス内の4Sを回り、省エネと資源リサイクルを推進する。

【本社】



□自動車部品製造部門

豊田工場環境方針

当地において、自動車部品の製造ならびに塗装設備事業を行うにあたり、従業員一人ひとりの自覚と責任において環境汚染を防止し、関係仕入先とも連携を取りながら、環境保全への継続的改善に取り組む。

1. 国・愛知県・豊田市との法令・条例・協定を遵守する。
2. 豊田工場周辺地域の良好な環境の保全に努める。
 - (1) 矢作川水系水質保全の為に排水の適正処理と自主管理基準の維持・管理
 - (2) 地域住民の快適な生活を守る為の騒音の防止
 - (3) 燃焼排ガス発生設備の維持管理による大気汚染防止
 - (4) 豊田工場敷地内の緑化推進
3. 資源枯渇・地球温暖化に対応する為、省資源・省エネルギーに努める。
 - (1) 生産設備改善・節電活動によるエネルギー消費量の削減
 - (2) 生産工程での排出物減量と再資源化の推進による廃棄物低減
 - (3) 仕入先への環境負荷低減の展開
 - (4) 部品設計・設備設計段階での環境への配慮
4. 消費資材の環境影響評価を行い、有害物質使用の防止に努める。

【豊田工場】



三好工場環境方針

当地において、自動車部品の製造を行うにあたり、従業員一人ひとりの自覚と責任において環境汚染を防止し、関係仕入先とも連携を取りながら、環境保全への継続的改善に取り組む。

1. 国・愛知県・みよし市との法令・条例を遵守する。
2. 三好工場周辺地域の良好な環境の保全に努める。
 - (1) 地域住民の快適な生活を守る為、悪臭の防止
 - (2) 燃焼排ガス発生設備の維持管理による大気汚染防止
 - (3) 三好工場敷地内の緑化・美化推進
3. 資源枯渇・地球温暖化に対応する為、省資源・省エネルギーに努める。
 - (1) 生産設備改善・節電活動によるエネルギー消費量の削減
 - (2) 生産工程での排出物減量と再資源化の推進による廃棄物低減
4. 消費資材の環境影響評価を行い、有害物質使用の防止に努める。

【三好工場】



環境に配慮した製品の紹介（設備部門）

□「ヒートポンプ 熱の有効利用」

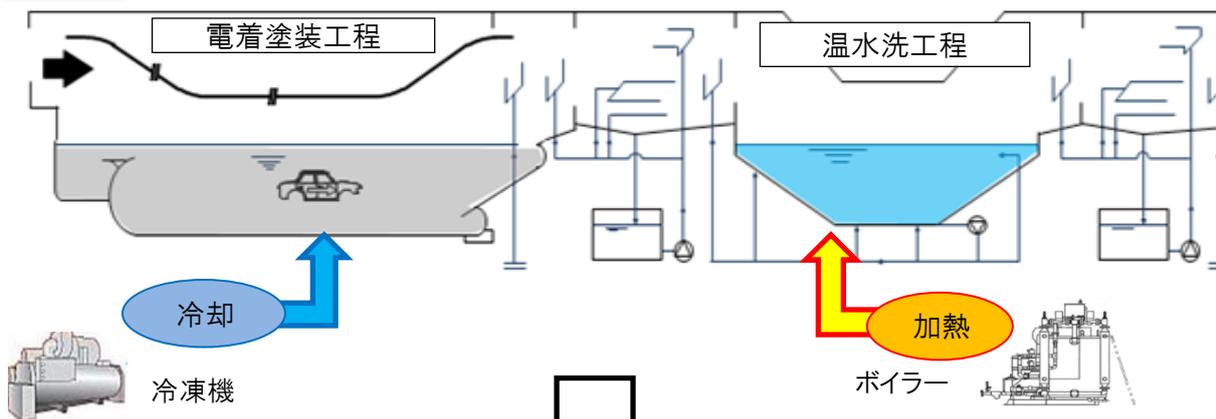
概要及び目的

電着塗装で発生する排熱を、冷水・温水同時製造のヒートポンプにて電着塗料を冷却し、排熱で温水化した温水洗槽で洗浄することで、被塗物の品質不良を軽減する。

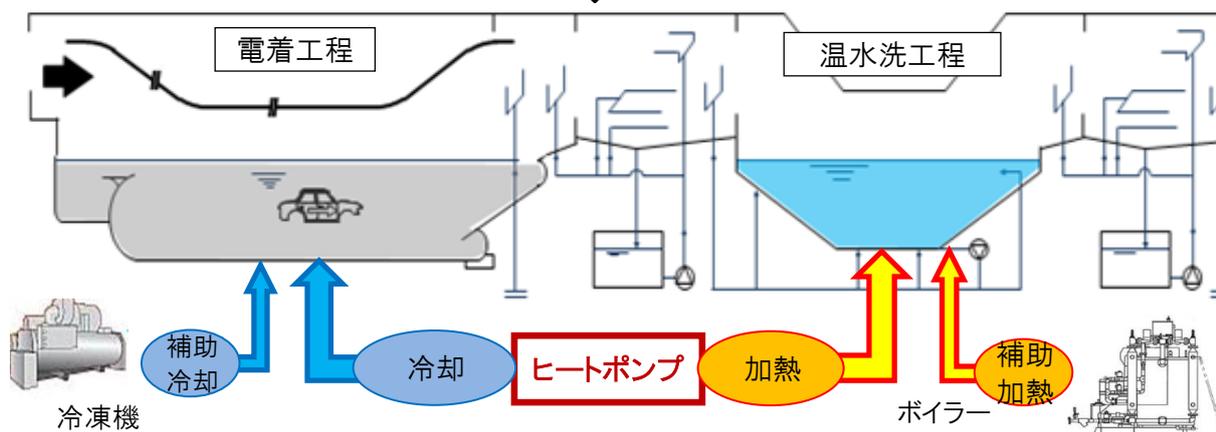
技術の紹介

従来の冷却装置は、冷水製造時の排熱を外気へ放出していましたが、冷水・温水同時生成のヒートポンプの冷水で電着塗料を冷却し、排熱の温水で温水洗浄工程を昇温し、エネルギー効率の向上を図ります。

従来

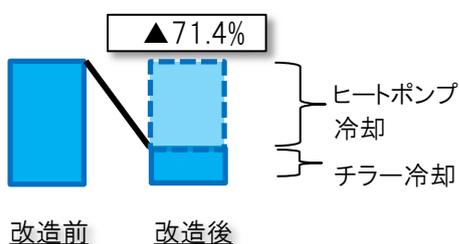


改善後

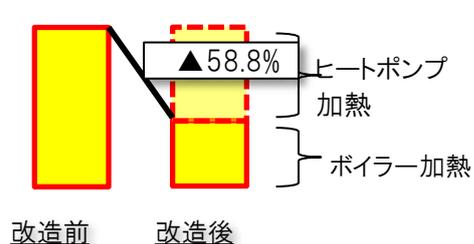


効果

① チラー負荷低減(通年平均)



② ボイラー負荷低減(通年平均)



環境に配慮した生産設備の紹介（自動車部品製造部門）

□「方式変更による洗浄剤-回収率の向上」

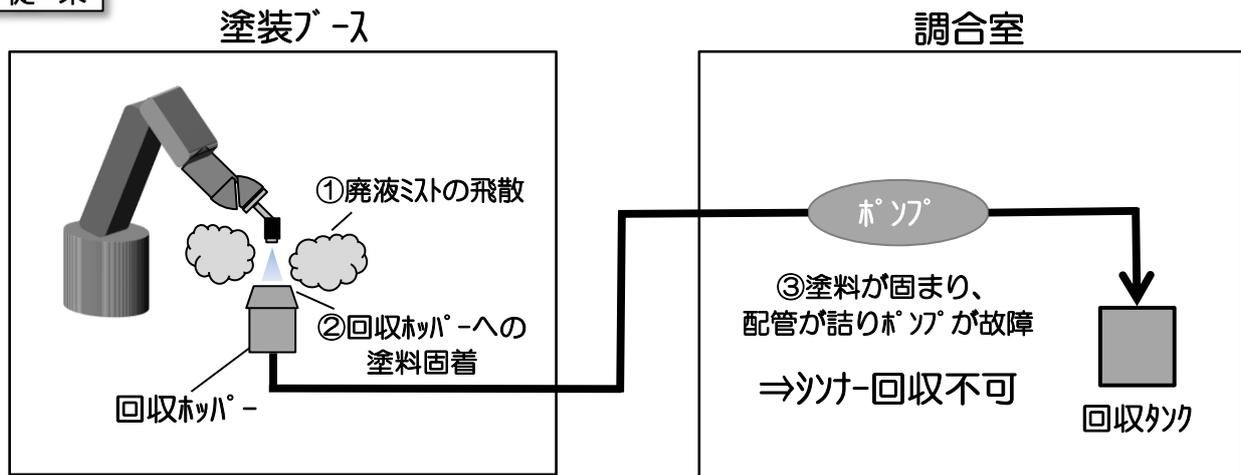
概要及び目的

2液塗装システムの色替えにおいて、回収機器、配管をなくしシンナー回収する事で空気中へのミストの飛散、ブース内への廃液をなくし、環境への配慮をします。

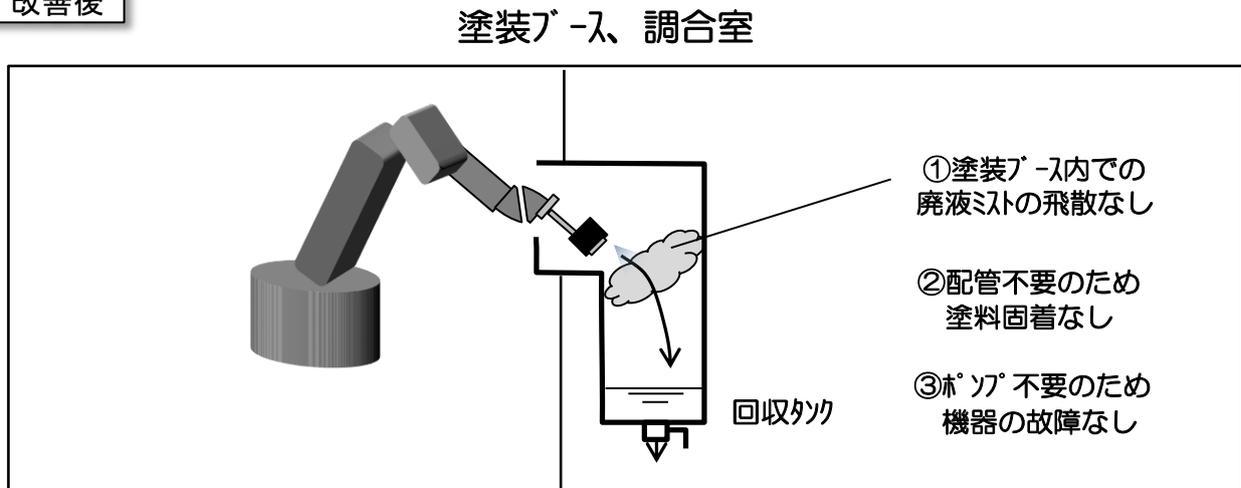
技術の紹介

従来は配管の詰り、回収機器のトラブルにより、シンナー回収率が低下していましたが、配管、回収機器をなくす事でトラブルもなくなり、シンナー回収率が100%になりました。

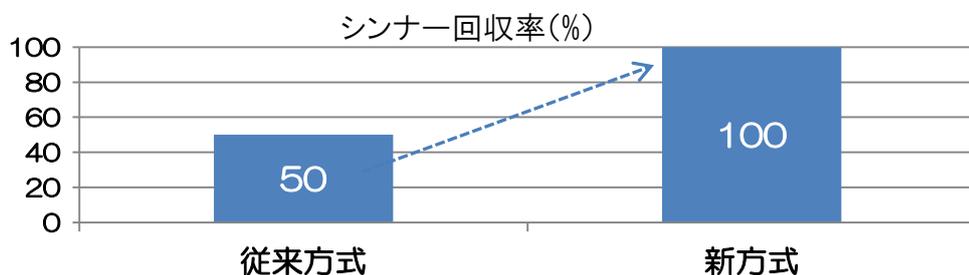
従来



改善後



効果



環境への取り組み

ロトリニティ工業全社の環境負荷低減活動

■地球温暖化防止への取り組み

地球温暖化問題において、CO₂排出量の低減が最優先課題と認識し、エネルギー使用量低減の取り組みを積極的に進めております。

・工場における活動

2015年度は塗装ラインを2ライン新設しました。

増設に当たっては、省エネルギーを考慮した仕様を積極的に導入しました。また、ガンチェンジャーを用いた色替えロス低減や、材料種類統合によるVOC低減、CO₂低減を図りました。

2015年度は生産効率の改善を図り、エネルギー原単位では、前年度（2014年）比で5.4%削減し、生産効率の向上が図れています。

・本社屋における活動

地球温暖化や資源枯渇などの問題から、化石燃料に大きく依存している現在社会はエネルギーリスクに直面していると考えています。その事を念頭に置き、節電活動を継続しました。

節電ワーキンググループを定期開催し、節電対策の検討を進めると共に、本社1Fロッカー室、4F、電算室の空調機をエコタイプに更新しました。

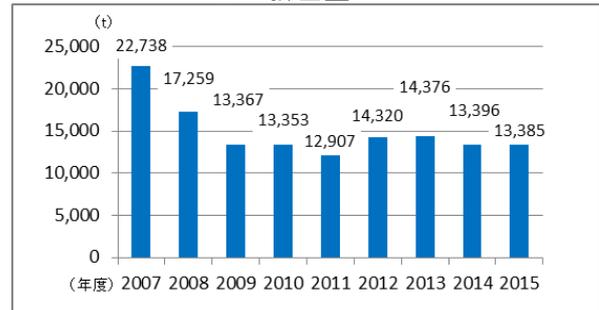
さらにフロア直管タイプ照明のLED化も完了。また、空調の温度管理及び照明のこまめな消灯などムダの削減に努めました。

■循環型社会への取り組み

産業廃棄物処分場のひっ迫、処分場周辺の環境問題を重く受け止め、当社においてもリサイクル化の推進や不良率低減活動に努めています。

また、事務所から排出する廃棄物の低減にも積極的に取り組んでいます。

CO₂排出量

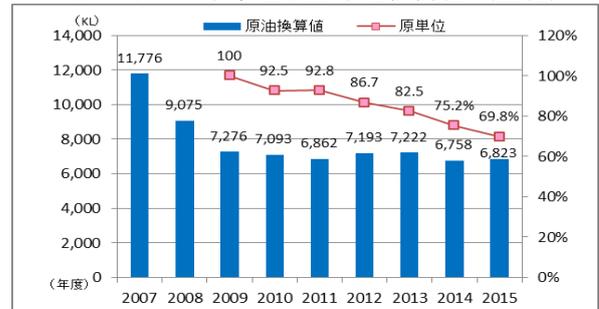


※環境省指定の実排出係数より

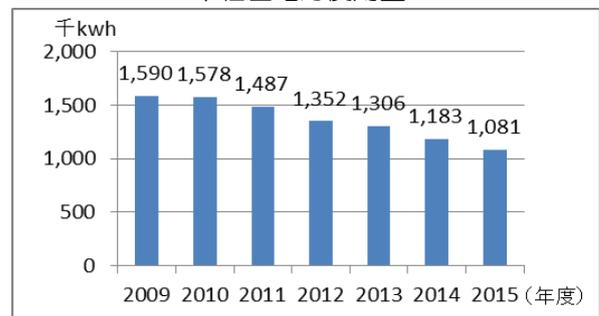


ガンチェンジャー

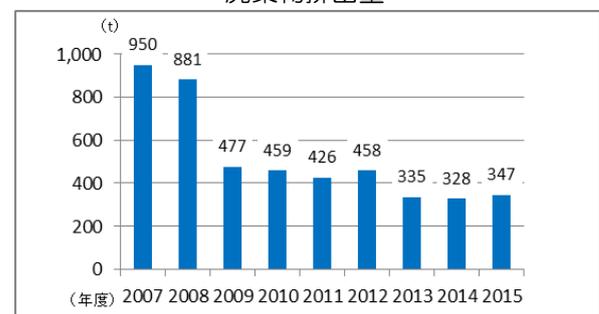
エネルギー原単位及び原油換算値（全社）



本社屋電力使用量



廃棄物排出量



環境への取り組み

□環境マネジメントシステム

■工場ISO14001取得状況

2000年10月31日に豊田工場でISO14001の認証を取得しました。その後、2008年には三好工場にも範囲を拡大しています。

2015年度は9月に更新審査を受審し、引き続き有効であると確認されました。

「環境とリンクして収益の改善を推進されていく中で、全員が当事者意識を持ち、小さなPDCAを回すことで、1グラム・1滴・1秒にこだわって、感じ・感じられる環境改善活動を進めており、効果に期待する。」と所見をいただきました。



■全社安全衛生環境会議

毎月、社長をはじめ、役員・各部長が全員出席して、「安全・衛生・環境」についての会議を開催し、情報の共有化と問題解決に取り組んでいます。また、各事業所の産廃マニフェストの管理状態、産業廃棄物処理業者の現地確認報告や節電活動、エネルギー低減活動の実施状況を報告して、指摘事項がある場合は、その場で対策案を検討し、法令違反の未然防止、環境保全に努めています。



□環境コミュニケーション

■豊田市「環境の保全を推進する協定」

豊田市と「公害防止協定」を昭和60年に締結し公害防止に努めてきました。

近年の環境問題に対して、事業者と市との共働による持続可能な社会の構築に取り組む為、「環境の保全を推進する協定に係る細目書」を改訂し、平成26年12月に締結しました。

本年度も10月に環境測定を実施し、環境保全の推進に努めています。

また、今年度は新たに「緑のカーテンプロジェクト」に参加し、工場で余った部品の通箱を再利用して、朝顔、ゴーヤ、ヘチマを植えて緑のカーテンを作り始めました。



境界地における環境測定



緑のカーテン

■「トヨタ地球環境月間」への参画

6月をトヨタ地球環境月間とし、キャッチフレーズ「もっと知ろう!自ら動こう!」のもと、当社も活動に賛同し、職場でのこまめな消灯、クールビズ、エコドライブ等、日頃のCO₂削減活動を再徹底しました。

■「ライトダウンキャンペーン」への参画

環境省主催のイベント

『ライトダウン 2015』へ参加。
当社では、6月17日を一斉定時退社日とし、全事業所にて定時後、事務所内の電気を消灯して、CO₂低減活動に参加しました。

地域とのコミュニケーション活動

□豊田工場

■近隣地区役員との交流会

2015年11月20日に、毎年実施している、豊田工場近隣地区自治会（桂野町、中垣内町、宮石町、奥殿町）との懇談会を、自治会役員を招き、本社・経営企画部も参画し、CSR活動と位置付けて、実施しました。豊田工場における環境活動の取り組み、1年間の変化点を説明し、その後、成形工程、転写工程、設備生産工程を見学して頂き、最後に意見交換会を行いました。



■地域美化活動

地域の環境美化活動に合わせ、6月14日に豊田工場周辺の草刈り及び清掃活動を実施しました。秋にも工場周辺の環境美化活動を計画しています。また、毎年4月に新入社員による地域美化活動を実施しています。今年度も4月10日に豊田工場から奥殿陣屋、そして工場周辺の道路を、地域の方々ともコミュニケーションを取りながらゴミ拾いを実施しました。



□三好工場

■環境活動

昨年度は、工程直結・一人工追求など稼働率向上により、生産性の大幅な向上に取り組みました。また、事務所の省エネ対策として、不燃シートで事務所を2分し温調効率をアップすると共に地域の環境美化活動に合わせ、工場周辺の草刈りを実施致しました



事務所を2分割し省エネ対策



工場周辺の草刈り



URL : <http://www.trinityind.co.jp>

トリニティ工業株式会社

本社 〒471-0855 愛知県豊田市柿本町1-9

TEL : 0565-24-4800

FAX : 0565-24-4825

お問い合わせ先

安全環境推進部

TEL : 0565-24-4818

FAX : 0565-24-4822

平成28年9月発行